

# 平成30年大磯町議会

## 3月定例会総括質疑（2月22日）

質問議員	質問事項
<p>1 10番 坂田よう子議員 (40分) 9:05～9:45</p>	<p>1. 平成30年度の力点について 平成30年度の力点をこれまでの重点項目と同じく、「子育て」、「健康」、「教育」、「観光」、「防災・減災」、「農業」の6点としたが、各項目における“つぼみ”と称する前年までの「取組みの成果」や“開花”と称する「今後の展望」を各項目においていかに捉えるか。また、今年度予算における各項目の予算規模及び、全体予算に対する割合を伺う。</p> <p>2. 力点の目的について 平成30年度の力点の目的を「交流人口の増加と定住人口の安定化」の探求であるとした信義と6項目の力点を目的達成に向かいいかに執行していくか。また、人口ビジョン総合戦略との関係についての認識を求める。</p> <p>3. 商工業環境の充実について 大磯暮らしの評価のひとつに商工業環境の充実は不可欠であると考え。取組み強化への認識を伺う。</p> <p>4. 重点事業の展開について 施政方針で取り上げた重点事業の内容・スケジュール等を伺う。また、その事業の重要性をいかに判断するか所信を求める。 (1) 旧吉田茂邸運営事務事業について。 (2) 大磯港みなとオアシス推進事業について。 (3) 明治記念大磯邸園（仮称）の整備事業について。 (4) 自転車ネットワークの形成について。</p> <p>5. 町職員の働き方改革について 健康なまちづくりは町職員一人ひとりの働く意欲から始まると認識する。町の明るい未来に町職員の働き方改革は不可欠とされたが、先般の職員アンケート等を踏まえ、いかに取り組んでいくか。</p>

<p>2</p> <p>15 番 柴崎 茂議員 (40 分) 9:45～10:25</p>	<p>1. 先の 2 月 15 日の平成 30 年度予算案に対して提案理由の中で、町長は「国内情勢は、…」として「町税の大幅な増収が見込めない一方で、少子高齢化による社会保障費の増加など、厳しい財政状況は今後も続いていくと思われる。」さらに、「日本は人口減少時代に突入している。今後多くの自治体がこの『人口減少』と『高齢化』という問題と対峙し続けていかなければならない。これからも本町が、人が集い、誰もが生き生きと安心して生活できる町であるために前進し続けなければならない。」としている。</p> <p>私は町長のこの最後の言葉、つまり「これからも本町が、人が集い、誰もが…（中略）…前進し続けなければならない。」に強く違和感と、天につばするような不遜な感情を抱いた。なぜなら、大磯町が嵐の中の海の小舟にしかすぎないのに嵐を静めなければならぬ、それは大磯町であるかのような表現は極めて町民に対して正直でなく、まさにうそつきと言っても過言でないと感じたからである。</p> <p>7 年前に前三好町長から債務残高 152 億で引き継ぎ、大磯町は金がないから自身を含め 3 役の給与を下げると言い、先に副町長、教育長の給与を元に戻し、中崎町長自身も 2 期目当選したら即座に後追いの形で給与を元に戻す。そのようなやり方で平成 30 年度も町政運営されるのはいかがか。</p>
<p>3</p> <p>8 番 奥津 勝子議員 (40 分) 10:40～11:20</p>	<p>1. 中崎町政 2 期目の最後の年となる平成 30 年度の予算である。</p> <p>2 月 15 日、本会議初日に述べられた施政方針に対し、総括質疑を行う。29 年度に引き続き重点項目として力を入れると言われた 6 項目に対し、平成 32 年度までの第 4 次総合計画後期基本計画に沿い、質疑する。</p> <p>(1) 子育てについて。 (2) 教育について。 (3) 健康について。 (4) 防災・減災について。 (5) 観光について。 (6) 農業について。</p>

4

13 番  
渡辺 順子議員  
(40 分)  
11:20~12:00

1. 予算審議にあたって次の点について問う。
  - (1) 30 年度予算編成にあたり 28 年度決算不認定をどのように総括し反映させたか。
  - (2) 中学校給食について  
中学校給食は昨年 10 月から休止になったままである。再度懇話会を立ち上げて 12 月までに方向性を決めるとしていたが 30 年度は 1,080 万円で調査することになった。しかし最初から懇話会の意見を採用するわけではないと明言している。何のための懇話会なのか。委託料は必要なのか。何を調査するのか。  
また、給食を必要としている家庭へ手立てが必要なのになぜ何もしないのか。  
町長は休止に至った原因はどこにあり、どのように反省し、今後どのようにしようと思っているのか。
  - (3) 子育てについて  
町長は、妊娠から出産、子育てという長い過程において子育てをする世代に寄り添い子どもの笑顔が輝く町でありたいと子育てを重点項目にあげられた。笑顔で輝く町は誰もが望んでいるところであるが、生活保護世帯やひとり親家庭、保護を受けない低所得世帯への配慮はあるか。
  - (4) 30 年度予算には計上されていないが総合計画後期基本計画・人口ビジョン総合戦略実施計画書では大磯駅周辺安全安心賑わい創出事業について、30 年度に計画案の協議、31 年度に駅前広場整備実施設計等が計画されている。どのように進めるか。
  - (5) 公共施設の再編事業は最重要課題である。総合計画重点プロジェクト認定事業として継続して行うべきではないか。30 年度はどのように進めるのか。
  - (6) 雑入に計上されている漁業協同組合施設整備負担金 1,035 万 3,000 円は大磯港みなとオアシス事業と関連があるのか。

<p>5 12 番 鈴木 京子議員 (40 分) 13:00～13:40</p>	<p>1. 町長は在任中の全ての実績をあげ、施政方針を述べたが、町長選出馬予定は。</p> <p>2. 「定住人口の安定化」が図られた上での前進が見込める予算となっているか。子ども（0～中学生）の数は増えているか。旧吉田茂邸再建で、町民の暮らしは良くなったのか。大磯港賑わい交流施設についてはどうか。</p> <p>3. 職員の働き方改革と住民サービスの低下を連動させてはならないが、具体的にどう整理し、進めるのか。</p> <p>4. 国保税や介護保険料の値上げに一言も触れない理由は。</p> <p>5. 子育て・教育分野について問う。  (1) 町独自の子育て支援策の予算額は。  (2) 公立幼稚園の満3才児保育。  (3) 温かくておいしい中学校給食実現の年度見込み。  (4) 校務支援システム。  (5) 小中学校普通教室への空調設備の準備の具体的な内容は。  (6) 大磯中の整備に予算計上はないか。また、従前の予算削減は全くないか。</p> <p>6. 福祉の分野でのサービスの後退は全くないか。介護保険も含め問う。</p> <p>7. 公共施設の管理、再配置と新しい施設の設置（大磯港・東部子育て支援センター・教育研究所の移転・大磯駅前周辺の再整備）の考え方は。また、町民参加の具体案を問う。</p> <p>8. 大磯駅周辺安全安心・にぎわい創出事業の計画案の協議に予算計上はないのか。</p> <p>9. 国府橋の架け替えの見通しは。</p> <p>10. 土地開発公社の債務負担を30年度までとした理由は。</p> <p>11. 明治150年事業の国・県との取り組みと町独自事業の具体的な内容は。</p> <p>12. 予算編成方針時の5億7,600万円の不足額はどのように解消したのか。</p>
--	--

<p>6 11 番 玉虫志保実議員 (40 分) 13:40~14:20</p>	<p>1. 施政方針の力点について質問する。</p> <p>(1) 子育てについて 幼稚園と小学校との連携強化、子育てと仕事の両立支援や小学校生活を不安なくスタートできるよう関係機関との連携強化に努めるとあるが、どのように努めるのか。</p> <p>(2) 教育について 中学校給食の解決策を多角的視点から検討するというが、多角的視野で考えれば、給食という形にとらわれる必要はないと考えるが、検討するために 1,000 万円を超える予算を提案することが妥当とする考えはどのような考えに基づくものか。</p> <p>(3) 健康について 「健康である」ということはどういう状態をいうのか。健康でい続けることとはどういうことなのか。</p> <p>(4) 防災減災について 本庁舎の津波被害などの対策はあるのか。また、考えはあるのか。</p> <p>(5) 農業について 山林も農地も所有者がいる。空き家対策もそうだと思うが、所有者の協力を得ることが必要と考える。どのように協力をお願いするのか。交渉などはどのように行うのか。</p>
--	---

## 6 名 2 1 問

※時間は、事情により変更になる場合がありますのでご了承ください。